

中小企業景況調査報告書（愛知県概略版）

（2020年7～9月期実績、2020年10月～12月期見通し）

1 県内商工会地区における産業全体景況

産業全体のすべて指標が6期ぶりに好転
















今期の産業全体の景況は、売上額D Iが△62.2、採算D Iが△60.9、資金繰りD Iが△37.7となり、対前期比でそれぞれ、15.4ポイント、4.7ポイント、13.2ポイント好転し、すべての指標で改善した。産業別では、製造業の採算D Iの好転、小売業の採算D Iの低下が目立つ結果となった。

次期は、売上額D I、採算D Iの指標が上昇、資金繰りD Iが悪化する見通しである。

産業全体の主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △62.2（対前期比 15.4好転） 次期予想 △59.8（対前期比 2.4上昇）
- ・採算D I △60.9（対前期比 4.7好転） 次期予想 △55.1（対前期比 5.8上昇）
- ・資金繰りD I △37.7（対前期比 13.2好転） 次期予想 △41.6（対前期比 △3.9悪化）

産業全体景況天気

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2019年10月～12月		△27.3 ↓		△29.4 ↓		△18.7 ↓
2020年1月～3月		△38.2 ↓		△36.5 ↓		△27.7 ↓
2020年4月～6月		△77.6 ↓		△65.6 ↓		△50.9 ↓
2020年7月～9月		△62.2 ↑		△60.9 ↑		△37.7 ↑
2020年10月～12月 （見通し）		△59.8 ↑		△55.1 ↑		△41.6 ↓

2 業種別景況

(1) 製造業

製造業はすべて指標が6期ぶりに好転































製造業では、売上額D Iが△65.7ポイントで対前期比17.2ポイント、採算D Iは△55.8ポイントで対前期比26.6ポイント、資金繰りD Iは△48.6ポイントで対前期比13.2ポイント、それぞれ好転した。

次期は、売上額D I、採算D I、資金繰りD Iとも悪化の見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △65.7 (対前期比 17.2 好転) 次期予想 △77.1 (対前期比 △11.4 悪化)
- ・採算D I △55.8 (対前期比 26.6 好転) 次期予想 △58.9 (対前期比 △3.1 悪化)
- ・資金繰りD I △48.6 (対前期比 13.2 好転) 次期予想 △57.1 (対前期比 △8.5 悪化)

製造業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2019年10月～12月		△28.6 		△35.3 		△26.5 
2020年1月～3月		△61.8 		△41.2 		△26.5 
2020年4月～6月		△82.9 		△82.4 		△61.8 
2020年7月～9月		△65.7 		△55.8 		△48.6 
2020年10月～12月 (見通し)		△77.1 		△58.9 		△57.1 

(2) 建設業

建設業は売上額D I、採算D Iは好転、資金繰りD Iは横ばい































建設業では、売上額D Iは△34.6ポイントで対前期比7.7ポイント、採算D Iは△38.5ポイントで対前期比5.5ポイント好転し、資金繰りD Iは△19.3ポイントで対前期比横ばいでした。

次期は、売上額D Iは悪化し、採算D I、資金繰りD Iは上昇する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △34.6 (対前期比 7.7 好転) 次期予想 △40.0 (対前期比 △ 5.4 悪化)
- ・採算D I △38.5 (対前期比 5.5 好転) 次期予想 △32.0 (対前期比 6.5 上昇)
- ・資金繰りD I △19.3 (対前期比 0.0 横ばい) 次期予想 △11.5 (対前期比 7.8 上昇)

建設業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2019年10月～12月		△7.7 		△12.0 		△11.5 
2020年1月～3月		△26.9 		△12.0 		△30.8 
2020年4月～6月		△42.3 		△44.0 		△19.3 
2020年7月～9月		△34.6 		△38.5 		△19.3 
2020年10月～12月 (見通し)		△40.0 		△32.0 		△11.5 

(3) 小売業

小売業では売上額D I、資金繰りD Iは好転、採算D Iは低下































小売業では、売上額D Iが△68.8ポイントで対前期比12.0ポイント好転し、採算D Iは△68.8ポイントで対前期比11.3ポイント低下し、資金繰りD Iは、△40.5ポイントで対前期比7.3ポイント好転した。

次期は、売上額D I、資金繰りD Iが上昇、採算D Iが好転する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △68.8 (対前期比 12.0 好転) 次期予想 △58.2 (対前期比 10.6 上昇)
- ・採算D I △68.8 (対前期比 △11.3 低下) 次期予想 △58.2 (対前期比 10.6 好転)
- ・資金繰りD I △40.5 (対前期比 7.3 好転) 次期予想 △35.4 (対前期比 5.1 上昇)

小売業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2019年10月～12月		△32.6 		△39.6 		△16.7 
2020年1月～3月		△44.8 		△37.5 		△25.6 
2020年4月～6月		△80.8 		△57.5 		△47.8 
2020年7月～9月		△68.8 		△68.8 		△40.5 
2020年10月～12月 (見通し)		△58.2 		△58.2 		△35.4 

(4) サービス業

サービス業は売上額D I、採算D I、資金繰りD Iとも好転































サービス業では、売上額D Iが△66.1ポイントで対前期比19.8ポイント、採算D Iは△66.1ポイントで対前期比4.3ポイント、資金繰りD Iは△37.2ポイントで対前期比22.0ポイント、それぞれ好転した。

次期は、売上額D I、採算D Iは上昇するが、資金繰りは悪化する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △66.1 (対前期比 19.8 好転) 次期予想 △59.1 (対前期比 7.0 上昇)
- ・採算D I △66.1 (対前期比 4.3 好転) 次期予想 △59.1 (対前期比 7.0 上昇)
- ・資金繰りD I △37.2 (対前期比 22.0 好転) 次期予想 △49.4 (対前期比 △12.2 悪化)

サービス業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2019年10月～12月		△30.4 		△25.7 		△18.8 
2020年1月～3月		△26.8 		△42.3 		△28.6 
2020年4月～6月		△85.9 		△70.4 		△59.2 
2020年7月～9月		△66.1 		△66.1 		△37.2 
2020年10月～12月 (見通し)		△59.1 		△59.1 		△49.4 

3 設備投資の状況

	今期実施		来期計画	
	実施企業割合	主な投資内容	計画企業割合	主な投資内容
製造業	5.9%	生産設備、車両運搬具	8.8%	生産設備、車両運搬具 付帯施設、OA機器 その他
建設業	7.7%	OA機器	7.7%	建設機械、車両運搬具
小売業	8.3%	車両運搬具、付帯施設 OA機器、その他	8.3%	店舗、車両運搬具 付帯施設、OA機器
サービス業	12.7%	建物、サービス 車両運搬具、付帯施設 OA機器、その他	9.9%	土地、建物、サービス 付帯施設、その他

4 経営上の問題

業種	順位	問題点の内容	割合
製造業	1位	需要の停滞	46.7%
	2位	その他	20.0%
	3位	生産設備の不足・老朽化	10.0%
製品（加工）単価の低下、上昇難		10.0%	
建設業	1位	民間需要の停滞	23.5%
	2位	請負単価の低下・上昇難	17.6%
	3位	材料単価の上昇	11.8%
その他		11.8%	
小売業	1位	需要の停滞	43.2%
	2位	消費者ニーズの変化	25.0%
	3位	大型店・中型店の進出による競争の激化	6.8%
サービス業	1位	需要の停滞	46.6%
	2位	その他	15.5%
	3位	店舗施設の狭隘・老朽化	8.6%

中小企業景況調査について

1 調査目的

この調査は、四半期毎に、全国商工会連合会が行う中小企業景況調査から愛知県内商工会地区における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

2 調査要領

(1) 調査対象時期

2020年7月から9月までの第2四半期を対象とし、調査時点は2020年9月1日。


(2) 調査対象企業

愛知県内12商工会地区内180企業。(内訳：製造業35企業、建設業26企業、小売業48企業、サービス業71企業)。

(3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書中のD Iとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各調査項目についての増加(上昇、好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については、下記のとおり

 雨 △100.0～△60.1	 曇 △ 60.0～△20.1	 薄曇 △ 20.0～20.0	 晴れ 20.1～60.0	 快晴 60.1～100.0
---	---	---	---	--

令和2年10月5日作成

愛知県商工会連合会 広域経営支援センター

TEL : 052-562-0041